

## 2023 年度アスベスト大気濃度調査結果について



環境省では、アスベスト(石綿)による大気汚染の状況を把握するために 2005 年度より毎年度、大気中のアスベスト濃度を調査しており、このたび、2023 年度の調査結果を取りまとめました。概要は以下の通りです。

1)調査地点:全国 38 地点(解体等工事現場や旧石綿製品製造事業場等を対象)

2)測定方法:「アスベストモニタリングマニュアル(第 4.2 版)」(環境省水・大気環境局大気環境課)

3)調査結果

○地域分類別(38 地点)における調査結果

- ・ 発生源周辺地域(調査実施 12 地点)…総繊維数濃度の幾何平均値:0.16~0.21 本/L
- ・ バックグラウンド地域(調査実施 21 地点)…総繊維数濃度の幾何平均値:0.092~0.21 本/L
- ・ 解体現場(施工区域周辺)(調査実施 5 地点)…総繊維数濃度の幾何平均値:0.74 本/L

○石綿繊維濃度の結果

16 試料において、総繊維数が 1 本/L を超え、走査電子顕微鏡法により 2 試料で石綿繊維数濃度が 1 本/L を超過しました\*。

※環境省の近年のモニタリング結果から、一般大気環境中の総繊維数濃度が概ね 1 本/L 以下であることから、飛散・漏えい確認の観点からの目安を石綿繊維数濃度 1 本/L としています。

当社は、石綿分析に係るクロスチェック事業(日本作業環境測定協会)で空気においてAランクの評価を取得しております。お困り事・ご相談事等ありましたら、お気軽にお問い合わせください。

資料 [2024 年 3 月 22 日付 環境省報道発表資料](#)

環境リスク分析箇所 鈴木敏純